



佐潟通信

2018年6月

64号

◆ 佐潟のようすⅠ

佐潟はおだやかな……木々の芽吹きと春の花、

時々聞こえる鳥の声、さまざまな魅力満載のsakata



ツバメ



カムリカイツリ



オオヨシキリ

潟周辺脇では一斉に草木が芽吹き始めウグイスが上手に囀り、鯉が浅瀬で産卵の水音を立てています。佐潟にも恋の季節がやってきたようです。

そして今日も湖面をツバメとコアジサシが飛び廻り、潟の淵では春から元気良く生育したヨシ原からオオヨシキリの賑やかな声がそしてオオヨシキリに託卵を企むカッコウの鳴き声、涼しい風が流れてくる日々です。やがてハスやヒシの葉で湖面が緑のジュウタンとなり皆様をおもてなし出来ると思います。



平成30年4月ドローン空撮

◆ 佐潟のようすⅡ

佐潟はのんびりと散歩できます。

1週(5.5km 約1時間)無料レンタサイクル有ります



番号	場所の呼称	呼名のいわれ、ようす
1	佐潟橋	佐潟公園整備の際に建設され、現在旧2代目の橋、佐潟の代表的景観が望める。
2	自然生態園	木道が整備され、希少な水生植物や水生昆虫、魚も観察できる。
3	野鳥観察舎	愛称は「滝見鳥(かたみどり)」。野鳥の観察には、佐潟で最もよい場所にある。
4	杉タコ(スギンタコ)	昔、ここに杉林があったという。現在は橋、杉が倒れ、景観を伝えている。
5	花が坂	美しい若い木々がこの地名がついた。現在は、坂の景観がわずかに残っている。
6	清き通り道(中瀬)	上流と下流をかける道。現在は清き(中瀬(なかのせ))と書かれている。
7	光塚	昔、純金の軽部屋敷、法興寺があったという伝説のあるところだ、ラッキーなところ。
8	大清水	かつて幾筋もの水路があり、清らかな冷たい水が湧き出していました。佐潟で最も上流になり、春先にはセリやクレソンなどが採取できます。
9	名子松	かつてこの地には立派な松林があり、地名に響かされたといわれています。
10	沼	下流の北西岸一帯。現在は松が枯れ、中にはある道は昔やわかに心地し。
11	蓮小屋場	蓮栽培が盛んな昔、ここに小屋をつくり、火で蒸らすのが間に蓮の葉を使った。
12	長割	御手洗池(みたらせが池)に響いた、かつてはもっとも長い堤防があった。
13	花火場(原塚中学校)	昔、お祭りの際、花火は花火の、この地で打ち上げ花火がはじまっていたといふ。

おすすめ・見どころ地点

- ② 自然生態園
自然観察ができる生態系の宝庫として好評です。木道が整備されており希少な水生植物や水生昆虫、魚も観察できます。
- ③ 野鳥観察舎
潟見鳥という愛称のついた建物です。野鳥の観察ができ、屋上観察デッキからは下潟のほとんどが見渡せます。
- ⑧ 大清水
かつて幾筋もの水路があり、清らかな冷たい水が湧き出していました。佐潟で最も上流になり、春先にはセリやクレソンなどが採取できます。また野鳥の声が頻繁に聞こえ野鳥観察が出来ます。
- ⑩ 沼
現在はスイカや大根畑が広がる景観が楽しい、春や秋には心地よい風の中での散歩が楽しめます。

◆ 佐潟のようすⅢ センター主催事業

◆ 小鳥さえずる佐潟で春散歩

4月29日ボランティア解説員と上潟で春の小鳥を探しながら野鳥観察を楽しみました。

上潟は下潟の南西部に位置します。湧水が流れる水路の脇にはクレソンやセリが生息し、野鳥の楽園地として静かで落ち着いた場所です。



◆ 2018 佐潟写真展開催

5月のGW期間中に野鳥の楽園、自然の宝庫である佐潟を撮影した自信作を展示し多くの来館者の皆さんに鑑賞して頂きました。中でも幸せを運ぶコウノトリや巨大なオニバスなど珍しい作品もあり、感動を与えてくれました。



◆ さかたん

5月13日佐潟自然探検隊（さかたん）の小学生18名は、潟淵で昔行われた稲作を体験しました。田んぼでドロまみれになって楽しみました。

また潟舟に乗って潟を一周するなど普段体験できない潟との関わりを楽しんで頂きました。



◆ 佐潟のようすⅣ 地域のイベント

佐潟まつりと中原邸公開で地域は春爛漫

4月14日と15日、佐潟の満開の桜並木はぼんぼりで飾りつけられ、近くの赤塚神社では、神事と太々神楽の奉納行事が行われ、参加者は春を満喫していました。また北国街道で栄え、明治天皇が北陸巡行の際に昼食をとった豪農の館、中原邸は、赤塚・中原邸保存会等の地元団体の主催で一般公開され、大勢の方に赤塚地区の文化を感じていただきました。



◆ 佐潟のようすⅤ

佐潟水鳥・湿地センター開館20周年を記念し、「佐潟・赤塚フォトコンテスト」を実施します。四季折々の自然豊かな表情を見せる佐潟の写真を通して、市内はもとより広く市外へその魅力を発信するため、皆さんの自慢の作品を募集します。

作品募集期間：平成31年1月4日～1月31日必着



詳細は「佐潟・赤塚フォトコンテスト」で検索



佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

(写真：野鳥観察舎)



【開館時間】9：00～16：30（冬期間11月から2月の土・日は7：00から）
【休館日】月曜日（祝休日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

編集 佐潟水鳥・湿地センター
〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
電話025(264)3050 / FAX 025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp
発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ係
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
電話025(264)7193

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

ラムサール条約湿地